

かわまた

No.139 平成23年11月1日発行
福島県川俣町議会

議会だより

多くの問題を抱えながら
始まった除染作業



22年度各会計決算を認定	2	町の課題を問う(一般質問)	8
被災者見舞金実現!	7	委員会の活動報告	19

決算を認定!

撤回のうえ可決～

9月定例会は9月8日から20日までの13日間の会期で開かれました。このうち一般会計決算については誤りがあり、当局より訂正の申し出がありました。質疑の後、5時間の休議をはさみ、撤回の申し出となり再提案のうえ認定しました。

また補正予算では、線量低減化活動支援事業にかかる予算、おしまふるさと交流館の整備にかかる予算などが提案され可決しました。なお、一般質問は11人が登壇し、町政全般について当局の考えを質しました。

決算の審議

一般会計

質問

昨年と比べて570人ももの納税義務者が減っている。これは高齢化の進展や働く場が減少していることが原因だし、放っておけばどんどん悪くなる。何か対策は考えているのか。

(高橋道弘議員)

答

今後も引き続き雇用の場を確保するため、産業の振興に取り組んでいく必要があると思います。

質問

町も原子力の安全

(古川町長)

性を広報してきた。このことはやはり反省すべきと考えるがどうか。

(遠藤宗弘議員)

答

原子力広報については、原発事故の状況を考えれば、そのようなことは出来ないということで、23年度は予算化しておりません。

(古川町長)

質問

情報管理費の工事に1億円を超える不用品が発生しているが、その理由は何か。

(新関善三議員)

答

光ファイバ通信網整備工事の残額が一番大きい。

く9300万円となっています。

(企画財政課長)

質問

国の方針とはいえ、臨時財政対策債が町債残高の約半分を占めるまでに膨らんでいる。このことについて、町はどのような認識を持っているのか。

(昆久美子議員)

答

臨時財政対策債は、国としても地方財政支援のための方策のひとつとして打ち出したものであり、私たちとしても有効に活用しながら町民福祉の向上に努めていきたいと考えています。

(古川町長)

質問

公用車の燃料について、どのようにして価格を決めているのか。また契約期間はどれ位か。

(斎藤博美議員)

答

業者で組織する石油業協同組合川俣班と契約しています。なお燃料単価は、3ヶ月毎に見直しています。

(企画財政課長)

国民健康保険特別会計

質問

徹底して差し押さえを行っても、それでもなお収入にならない国保税が1億2000万円もある。このような欠陥のある制度が今後も存続していくのか。

(遠藤宗弘議員)

答

国保制度については大変厳しい状況にありますが、国に対して地域の実態と制度の改正について訴えていきたいと思っています。

(古川町長)

質問

今までずっと伸びてきた保険給付費が6千万円近く減った要因は何か。

(高橋道弘議員)

国保加入者が減少したことで、町が行っている特定検診の効果だと思われる。

(保健福祉課長)

水道事業会計

質問

他市町村から川俣町に避難している人や仮設住宅に入居している人など相当数いると思うが、給水人口などは把握しているのか。

(遠藤宗弘議員)

答

23年度についてはそのようなことも考慮しながら検討する必要があると思います。

(建設水道課長)

22年度各会計

～一般会計決算

平成22年度主な各会計等の決算額

(単位：千円)

区 分	金 額
一 般 会 計	歳入 74億1,525万3
	歳出 71億3,836万8
	収支 2億 780万2
国民健康保険 特 別 会 計 (事業勘定)	歳入 17億 590万6
	歳出 16億6,391万9
	収支 4,198万7
老 人 保 健 特 別 会 計	歳入 552万5
	歳出 552万5
	収支 0
介 護 保 険 特 別 会 計	歳入 13億8,303万5
	歳出 13億7,030万4
	収支 1,273万1
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	歳入 1億5,974万9
	歳出 1億5,908万4
	収支 66万5
水道事業会計 (資本)	歳入 5,162万2
	歳出 1億6,766万8
	収支 ※△1億1,604万6

※水道事業（資本）の不足額は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額等で補てんしました



提出議案について説明する古川町長

予算の補正

一般会計補正予算

○線量低減化活動支援事業について

質問

線量低減化活動支援事業について、13箇所の仮置き場の予算を計上しているが、用地確保の見通しはあるのか。

(昆久美子議員)

答

現時点で6箇所ほど確保できる見込みですが、

その他の地区についても早急に協議を行い確保したいと考えています。

(企画財政課長)

質問

今年は至る所でひまわりが植えられたが、その処分に困っているところも多い。仮置き場に搬入して処分できないか。

(新関善三議員)

答

今回の線量低減化活動支援事業で想定してい

るのは、あくまでも土砂であり、ひまわりについては想定していません。

(町民税務課長)

質問

仮置き場の選定に当たっては、自治会との協議だけではなく地域とも十分に話し合いながら決めていく考えはあるか。

(嶋原利光議員)

答

十分に地域の方とも話し合いながら、仮置き場については選定していきたいと思っています。

(企画財政課長)

質問……………
仮置きというが、一体いつまでが仮置きなのか。（菅野清一議員）

答……………
仮置ききの年数については、はっきりとは言えませんが、国としても最大限の責任を持って対応するということですので、そう長くはならないものと考えています。

質問……………
町が責任を持って仮置き場を選定すれば余計な混乱を町民に与えずに済むが、そのようにする考えはないか。

質問……………
（黒沢敏雄議員）
地域と充分に協議しながら進めていきたいと思えます。（古川町長）

質問……………
本当に舗装とか側溝を洗浄しただけで線量が下がるのか。まずは試験的に町が実施してみるべきではないか。

答……………
（高橋道弘議員）
それぞれの状況によって、一律の除染方法で

は線量が下がらないことも考えられますので、しっかりと有効な方法を検討しながら進めていく必要があると思います。

（町民税務課長）

質問……………
除染作業の講習会など開催する計画はないか。（高野善兵衛副議長）

答……………
国や県からの講師派遣も可能ですので、そういったものも活用して進めていきたいと考えます。

（企画財政課長）

○飯館村で建設中の仮設校舎について

質問……………
飯館村では川俣町の飯坂地区に小学校の建設を進めているようだが、川俣町と飯館村の間でどのような協議がなされたのか。（高橋道弘議員）

答……………
飯館村からは仮設の小学校を建て、来年4月から開校したいとの話しはいただいています。校舎の面積やどういった校舎を建設するのか、いつから工事が始まるかなど

の詳しい話しは聞いていません。（古川町長）

質問……………
飯館村の仮設校舎建設の件について、いくら仮設とはいえ川俣町に建設するわけだから、しっかりと契約を結び進めるべきと思うがどうか。（遠藤宗弘議員）

答……………
いろいろと対応することでも出てくると思いますので、飯館村と具体的に協議し協定を結ぶ方向で進めていきたいと思えます。（古川町長）

討論

反対討論

線量低減化活動支援事業について、町長は町が仮置き場を確保するまでは実施しなかったにもかかわらず、仮置き場も決まっていらない。また予算も可決されていない段階で、すでに実施した行政区がある。これは議会軽視であり、また住民感情を逆なでするものであるので反対する。

（新関善三議員）

賛成討論

予算については県では遡っても事業に該当させるといつている。また仮置き場の件については、町長は町が確保すると言っているのだからその言葉を信用して賛成する。

（昆久美子議員）

採決

採決の結果、賛成多数で可決しました。

賛成した議員

高橋真一郎、嶋原利光、高橋道也、菅野清一、菅野博美、斎藤久美子、昆野意美子、黒沢敏雄、三浦浩一、五十嵐謙吉、石河清、遠藤宗弘、高野善兵衛、高橋道弘、新関善三、以上13人

反対した議員

以上2人

主な財政指標

項目	平成22年度末	平成21年度末	平成20年度末
財政力指数	0.35	0.37	0.38
経常収支比率	82.7%	86.2%	89.0%
公債費比率	6.8%	8.2%	9.7%
実質公債費比率	9.2%	10.3%	11.8%
地方債(借金)年度末残高	52億6,737万円	51億6,918万円	53億8,844万円
財政調整基金残高	10億3,362万円	7億8,301万円	7億2,893万円

●介護保険特別会計補正予算

質問……………
繰越金が歳入予算に計上されていないがその理由は。

答……………
次回の補正予算に計上いたします。（保健福祉課長）

●簡易水道事業特別会計補正予算

質問……………
沈殿槽の泥について、放射線量は測定しているか。

答……………
現在は測定していませんが、早急に対応したいと思えます。（建設水道課長）

議員提案

原発事故に伴う諸課題について議員提案があり、一部に反対もありましたが、全て可決しました。

●「にっしん夢まつり・夢花火」大会への指導を求める決議

討論

反対討論

大会の主催者が日進市とは関係のない民間団体であること、また市長等が近日中に謝罪に来自ることから、そこまでする必要はないと思うので反対する。
(昆久美子議員)

賛成した議員

高橋 道弘 高橋真一郎
嶋原 利光 高橋 道也
菅野 清一 斎藤 博美
菅野意美子 新関 善三
黒沢 敏雄 三浦 浩一
石河 清 遠藤 宗弘
高野善兵衛

反対した議員

昆 久美子 五十嵐謙吉
以上2人 以上13人

●除染に対し国が責任を持って取り組みことを求める意見書

質問

国が責任を持って除染するということとは、具体的にはどのようなことを想定しているのか。

(高橋道弘議員)

答

今回の線量低減化活動事業など、今後の除染作業について、しっかりと国が財政支援するよう求めていくことです。
(菅野意美子議員)

●放射能汚染に対する正しい知識の周知と風評被害防止のための指導を求める意見書

●原発被災損害賠償請求手続きに関する意見書

●原発被災損害賠償請求手続きに関する意見書

●原子力災害対策室の拡充を求める要望書

皆さんからの請願・陳情

9月定例会に提出された請願は2件で、陳情はありませんでした。

所管する産業建設常任委員会で審査した結果、2件とも採択されました。

産業建設常任委員会

請願 採択

●町道細越・笛田線整備に関する請願書
◆請願者 川俣町大字鶴沢字笛田8―3

◆紹介議員 高橋道也 嶋原利光 遠藤 寅雄 外5名

●町道油田・餅石線整備改良と町道認定に関する請願書
◆請願者 川俣町大字鶴沢字笛田24―6

◆紹介議員 斎藤博美 新関善三 斎藤 勇夫 外8名

9 月 定 例 会 審 議 結 果

(平成23年9月8日～20日)

議案	件 名	審議結果
第84号	平成22年度川俣町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
第57号	平成22年度川俣町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
第58号	平成22年度川俣町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
第59号	平成22年度川俣町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
第60号	平成22年度川俣町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
第61号	平成22年度川俣町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
第62号	平成22年度川俣町奨学資金特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
第63号	平成22年度川俣町工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
第64号	平成22年度川俣町小島財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
第65号	平成22年度川俣町飯坂財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
第66号	平成22年度川俣町大綱木財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
第67号	平成22年度川俣町小綱木財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
第68号	平成22年度川俣町山木屋財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
第69号	平成22年度川俣町水道事業会計決算の認定について	認定（全会一致）
第70号	平成23年度川俣町一般会計補正予算（第5号）	可決(賛成13、反対2)
第71号	平成23年度川俣町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第72号	平成23年度川俣町介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第73号	平成23年度川俣町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第74号	平成23年度川俣町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第75号	平成23年度川俣町奨学資金特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第76号	平成23年度川俣町水道事業会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第77号	川俣町小島財産区管理会委員の選任について	同意（全会一致）
第78号	川俣町飯坂財産区管理会委員の選任について	同意（全会一致）
第79号	川俣町大綱木財産区管理会委員の選任について	同意（全会一致）
第80号	川俣町小綱木財産区管理会委員の選任について	同意（全会一致）
第81号	川俣町山木屋財産区管理会委員の選任について	同意（全会一致）
第82号	川俣町個人情報保護審査会委員の任命について	同意（全会一致）
第83号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意（全会一致）
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意（全会一致）

被災者見舞金実現!

第7回 臨時会

8月26日に第7回臨時会が開催され、町民1人につき1万円の被災者見舞金を支給する予算や、大震災により被災した道路などの復旧工事費、食品放射線測定器の購入、線量低減化活動事業補助金など、一般会計補正予算全体では、総額3億932万円の増額予算を可決しました。

主な事業

- 被災者見舞金 1億4,727万円
- 食品放射能測定器購入費 488万円
- 線量低減化活動事業補助金 5,000万円
- 線量計購入費 1,554万円
- 林業施設災害復旧工事費 8,968万円
- 土木施設災害復旧工事費(補助) 8,084万円

一般会計補正予算

質問

線量低減化活動事業について、仮置き場を町が確保してから取り組まないと大変な混乱を招いてしまうと思うが、そうする考えはあるか。

(昆久美子議員)

答

町民の皆さんの合意を得ながら、町が仮置き場を確保する必要があると思います。

(古川町長)

質問

当初から食品の危険性は想定されたはずな

のに、食品放射線測定器の購入がこれほど遅れたのはなぜか。

(菅野清一議員)

答

事故当初は被災者受け入れ等の対応や、食品放射線測定器に関する情報もなかなか入らなかったためです。

(企画財政課長)

質問

今までモニタリングした箇所のデータの活用は何か考えているのか。

(新聞善三議員)

答

町としてもモニタリングの箇所はだんだん増やしているところです。今後は町民の方にも分かり易いように色分けしたマップを作成することも検討する必要があると思います。

(企画財政課長)

質問

やっと町民に見舞金を配る予算が計上されたわけだが、具体的な配付時期はいつ頃になるのか。

(遠藤宗弘議員)

答

今後、申請書類を発

送し、記入され到着した分から順次支払いをしていく考えです。

なお、受付期間については今年の12月末までを予定しています。

(保健福祉課長)

質問

復興会議の予算も計上されているようだが、最も大きな被害を受けた

山木屋地区のように未だ復旧もされていないのに復興とはどういうことか。また復興会議のメンバーに若者が全く含まれていないが、これから長期にわたる原発災害を考えれば、若者の声をもっと聞くべきではないか。

(高橋道弘議員)

答

復旧なくして復興はないわけであり、山木屋地区についてもしっかりと除染に取り組みながら進めていきたいと考えています。また復興会議の件については、町としても出来るだけ多くの若者の声を復興計画に反映できるように取り組んでいきます。

(古川町長)

質問

仮置き場が決まらなければ線量低減化活動事業は進めないと町長は発言したが、自治会には地域で仮置き場を確保するようお願いしているはず。この件との整合性はどうか。

(高橋道也議員)

答

各地区の要望などをお聞きし、調整を図りながら十分に説明して取り組んでいく必要があると思います。(古川町長)

質問

放射能に汚染された土砂が、町外から持ち込まれている可能性はないのか。

(黒沢敏雄議員)

答

現時点では、そのようなことは把握していません。(古川町長)

その他の議案

●川俣町税条例等の一部を改正する条例